

## 小学校における総合的な学習の時間の効果的な実践例

佐々木 勇

美作大学・美作大学短期大学部紀要（通巻第65号抜刷）

## 小学校における総合的な学習の時間の効果的な実践例

Effective Use of Comprehensive Learning Period in Elementary School: A Case Study

佐々木 勇

キーワード：総合的な学習の時間、横断的・総合的な学習、キャリア教育

### 1 はじめに

総合的な学習の時間は、小学校においては2000（平成12）年より段階的に始められた。

当時の学校現場では、教科書もなく、国際理解、情報、環境、福祉や健康などの現代的課題を取り扱う横断的・総合的な学習が各校や学級担任の裁量に一任された。そのために、学校現場において、何をどのようにしたら良いのかという戸惑いがあった。

筆者は当時、文部省での説明会に参加したが、大きな時代の変化が押し寄せてきたように感じた。「ゆとり教育」とか「生きる力」といった言葉が先行しており、多くの教師は手探りの状態であった。ただ、学校の取り組み方や管理職のリーダーシップ、さらには学級担任の力量によって、成果を上げるとともに、課題も見つかった。

2008（平成20）年1月の中央教育審議会答申では次のような課題が指摘されている<sup>(1)</sup>。

- ・ 成果を大きく上げている学校もあるが、趣旨や理念が十分に達成されていない状況も見られる。
- ・ 子どもたちに身に付けさせたい力や、学習活動の示し方についての検討が必要である。
- ・ 補充学習とか、運動会の準備などと混同されている場合もあるので、教科内容や特別活動との関係の整理が必要である。

このような課題を踏まえて、新学習指導要領（平成

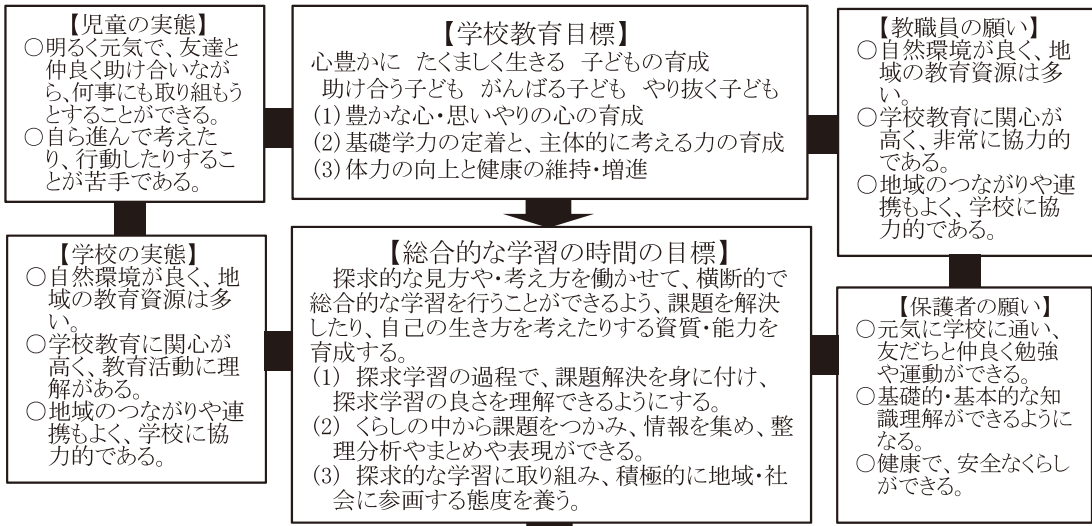
29年3月告示）では、地域や学校や児童生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習の時間を通して、カリキュラム・マネジメントの取組が行われ、児童一人一人の資質・能力のより、一層の向上が求められている<sup>(2)</sup>。

### 2 総合的な学習の時間の全体計画

総合的な学習の時間は、年間70時間が設定されており、各学校では『小学校学習指導要領』『小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間』をもとに、全体計画を作り、「年間指導計画」及び「単元計画」を作成することになる。

まず、学校内外を取り巻く内部環境と外部環境のプラス要因とマイナス要因をSWOT分析により明らかにしたい。これにより、学校経営のビジョンを立てるのである。

図1は、筆者の考える総合的な学習の時間の全体計画である。【児童の実態】【学校の実態】を把握するとともに、【教職員の願い】や【保護者の願い】などを考慮して、【学校教育目標】を立てる。これをもとに【総合的な学習の時間の目標】、さらに、【総合的な学習の時間の学校目標】を設定する。例えば、探求的な見方や考え方を働かせて、〇〇地域のひと、もの、ことに関する総合的な学習を通して、よりよく課題解決をし、自己の生き方を考える資質・能力を育成するのである。



**【総合的な学習の時間の学校目標】**  
 探求的な見方・考え方を働かせて、○○の地域の人、もの、ことに関する総合的な学習を通して、よりよく課題解決をし、自己の生き方を考えるようにする資質・能力を育成する。

**【各学年における探求課題及び内容】**

学 年		3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	
テ ー マ		○○の地域や自然からよさや特徴を学び、ふる里を愛し地域に貢献する○○っ子				
探 求 課 題		地域の歴史と、それに関わる人々	地域の環境とそれを守る人々	地域の伝統産業とその発展に関わる人々	地域の伝統・文化とその継承に力を注ぐ人々	
具 体 的 な 資 質 ・ 能 力	知識及び技能	地域の自然・伝統・文化のすばらしさや、それを守る苦労が分かる。	地域の現状や課題が分かり、町づくりの工夫や努力が分かる。	地域の産業の特徴や発展に力を注ぐ人々の工夫や努力が分かる。	地域の歴史と未来像から、その継承に力を注ぐ人々の努力が分かる。	
		収集した情報を比較・分類するなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。		収集した情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付ける。		
	思考力・判断力・表現力等	課題発見力	自分が学習したことや体験学習から課題を持ち、解決方法を考える。		地域の人々の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、課題を発見する。	
		情報収集力	自分たちの身近な所から、目的に応じた資料や情報を集めようとする。		課題解決に向けて、目的や内容に応じて必要な情報を、計画的に集めようとする。	
		整理・分析力	問題の内容によって、集めた資料や情報から、整理したり、分類したりする。		問題の内容によって、情報収集した資料を整理したり、分析したりする。	
		表現力	わかりやすくまとめたり、表現したりする。		内容が目的やねらいに応じて、工夫したり、表現したりする。	
	学びに向かう力 人間性等	追求力	課題解決に向けて、粘り強く目的意識を持って取り組んでいる。		課題意識を持って、自分なりの考えを持って追求しようとする。	
		協働力	自分と違った考えや方法があることに気付き、協力しながら探求活動に取り組んでいる。		課題解決に向けて、異なる意見や他者の考えを受け止めながら、協働して取り組んでいる。	
評価力		新しく出会った価値観やものの見方等に気付いたり、地域の生活、文化、伝統などに親しんだりして、自分のよさや成長に気付く。		新しく出会った価値観やものの見方等に気付いたり地域での生活、文化、伝統などに親しみ、それを継承したり発展したりしようとする。		

<b>【指導方法】</b> ①体験活動を重視して、児童が課題意識を持つように教育活動の支援と工夫をする。 ②主体的・対話的で深い学びになるように、学習活動の場を設定する。	<b>【指導体制】</b> ①全教職員が支援や指導に入ることができるよう、支援体制を整備する。 ②地域の人々や関係機関との連携を図るために、普段からの協体制を充実する。	<b>【学習評価】</b> ①単元ごとに、観点別評価基準を設定して評価をする。 ②ワークシートの記述、資料作成、行動観察、自己評価などを基に評価をし、改善をする。
---	--	---

図1 総合的な学習の時間全体計画(例)  
 出所：『小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』より作成。

次に、【各学年における探求課題及び内容】の設定をする。全校でテーマを定め、各学年で探求課題を設定する。さらに、具体的な資質・能力として獲得が期待される「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」が定められる。

その際、【指導方法】【指導体制】【学習評価】も併せて考えなければならない。【指導方法】で、児童が課題意識を持つように体験学習を重視する。また、主体的・対話的で深い学びになるような学習の場を設定しなければならない。【指導体制】では、校内で全教職員の協力体制をもとに、支援体制の整備をする。また、地域や関係機関との連携を図るために、平素からの協力体制を得ていなければならない。【学習評価】では、観点別評価基準の設定や、形成的評価を単元ごとに作成することが望まれる。また、資料作成、行動観察、ワークシートの作成、自己評価などをもとにして評価をする。

### 3 総合的な学習の時間を教育課程の中心に置く実践例 一東広島市立西条小学校の教育課程を中心において一

総合的な学習の時間に学校全体で取り組んで大きな成果を上げているのが、全校児童数約1,100名の東広島市立西条小学校である。小学校に入学してから、1・2年生は「生活科」、3年生以上は「総合的な学習の時間」があるが、この6年間の集大成が、オペラ「白壁の街」の公演となっている。

表1はオペラ「白壁の街」のあゆみであるが、これは一部であり、実際にはかなりの公演数が行われている。これが伝統になっており、学校や地域に根付いていることがわかる。

このオペラは、1981（昭和56）年に当時の職員により創作されたということであるが、それが今年で39年目になる。オペラを引き継ごうという児童・教職員・保護者・地域住民の意欲や情熱・支援や協力が、今日まで続いている。

西条小学校が総合的な学習の時間を、どのように学校全体で取り組んだのかというのが、図2である。

表1 オペラ「白壁の街」のあゆみ

昭和56（1981）年	オペラ「白壁の街」誕生、NHKにより放映、広島県学校教育推進校研究会で上演
昭和61（1986）年	小学校長会中国大会で上演
平成2（1990）年	教育研究会（文部省指定）で上演
平成11（1999）年	全国生涯学習フェスティバルにて上演
平成13（2001）年	NHK「お好みワイド」出演
平成16（2004）年	日本PTAブロック研究会で上演
平成25（2013）年	教育研究会で上演
平成28（2016）年	NHK「小さな旅」で紹介
平成29（2017）年	中国地区市町村教委大会研修大会で上演
平成30（2018）年	BS朝日「新日本風景遺産」で紹介
令和元（2019）年	暴力追放大会等で上演

出所：「第39代 西条小学校6年生 オペラ 白壁の街」より作成。<sup>(3)</sup>

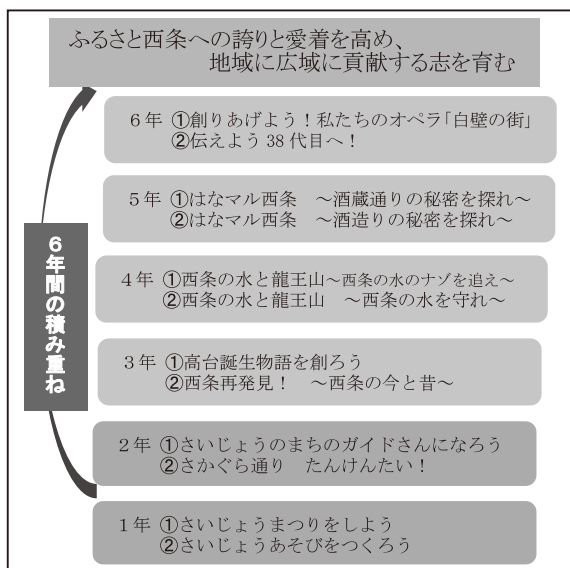


図2 西条小学校における総合的な学習の時間の流れとめざす方向  
出所：『西条小学校の教務主任の説明資料』<sup>(4)</sup>より作成。

この6年間の集大成が、オペラの公演となっている。1年生<sup>(5)</sup>は、①「さいじょうまつりをしよう」②「さいじょうあそびをつくろう」というネーミングで、西

条まつりや西条遊びをする。課題の発見と追求力が試される。意欲を持ち、興味関心を高めさせるのであるが、自分たちだけでよく分からない部分については、先生や上級生、卒業生、地域の人にインタビューする活動へと発展させる。

2年生<sup>(6)</sup>は、①「さいじょうのまちのガイドさんになろう」②「さかぐら通り たんけんたい！」のネーミングで、西条の町をいろいろと調べ、それを今度はガイドになって人に紹介できるように自分を高める。また、酒蔵通りを探検して、今まで知らなかった場所を発見する。

3年生<sup>(7)</sup>は、①「高台誕生物語を創ろう」②「西条再発見！～西条の今と昔～」のネーミングで、高台にある西条小学校の歴史を地域の人からの手紙で知ったり、ゲストティーチャーから話を聞いたりする。ここでは、今と昔の建物の違いについて調べたり、くらしの移り変わりを調べたりする。

4年生<sup>(8)</sup>は、①「西条の水と龍王山～西条の水のナゾを追え～」②「西条の水と龍王山～西条の水を守れ～」のネーミングで、酒の仕込み水について学習する。西条の酒の仕込み水は、学校から見える龍王山からの伏流井水であり、ミネラルを含んでいる上質な軟水である。

図4のような各酒蔵会社の水を、試飲体験する。いつも飲んでいる水道水よりおいしく、場所によって味が違うのを体験する。各酒造会社の支援や大学の関係



図4 酒造会社によって違う仕込み水の井戸  
出所：酒造会社の許可を得て筆者撮影（R元.10.21）



図5 酒蔵通りにある酒蔵と煙突  
出所：酒造会社の許可を得て筆者撮影（R元.10.21）

者、養護教諭からの聞き取りなどにより、水の硬度を調べる。そして、西条の水や龍王山の水を守るための計画を立てる。地域を愛する心情を育てるのである。

図5は、酒蔵通りにある酒蔵と煙突である。西条には7つの醸造場が建ち並び、酒蔵と煙筒が立っている。湧き出ている水は、酒造会社ごとに試飲できる。

5年生<sup>(9)</sup>は、①「はなマル西条～酒蔵通りの秘密を探れ～」②「はなマル西条～酒造りの秘密を探れ～」というネーミングで、「酒蔵通りツアー」を計画する。そして、グループごとに課題を設定して、問題解決をする。ここでは、各酒造会社や市役所、観光協会などの連携が必要になる。地域の歴史・伝統・文化を知ることにより、人々の思いや努力を知ることによって、自分にできることは何かを知るのである。

6年生<sup>(10)</sup>は、①「創りあげよう！私たちのオペラ『白壁の街』」②「伝えよう38代目へ！」というネーミングで、今までの情報を比較・検討したり、関連付けたりして、オペラを創り上げる。そうすることによって、学校や地域への愛情を深めていくのである。

東広島市西条町では、毎年10月の第2土・日曜日の2日間に、中央公園と西条酒蔵通りを中心にして「酒まつり」が行われる。会場にある「東広島市芸術文化ホールくらら」では、毎年オペラ「白壁の街」の公演がされている。

図6・7は、当日の観客が並んでいる様子である。公演開始は午前9時50分であるが、7時前にはすでに



図6 公演会場前に並んでいる観客  
出所：筆者撮影。なお西条小学校より許諾済み  
(R元.10.21)



図8 オペラ「白壁の街」公演の様子  
出所：筆者撮影。なお西条小学校より許諾済み  
(H29.7.20)



図7 公演会場前に並んでいる観客  
出所：筆者撮影。なお西条小学校より許諾済み  
(R元.10.21)



図9 オペラ「白壁の街」公演の様子  
出所：西条小学校HPより許諾を得て掲載

会場前に並んでおり、開始前には道路を挟んだ通りを幾重にも囲んだ。この中には、卒業生、保護者、地域の人、市内在住の人や観光客などがいた。また、総合的な学習の時間に関わった地域の方もおられ、公演への期待と地域との連携の大きさが感じられた。

図8・9は公演会場の中の様子であるが、熱気に包まれ、静まり返った中での公演であった。出演者は6年生のみであるが、表1に示したように、各学年の集大成がこの公演となったものである。内容は、「第一場 蔵入りの場」「第二場 蒸し米造りの場」「第三場 麴室の場」「第四場 仕込みの場」「第五場 新酒祝いの場」「第六場 祭りの場」からなっている。そして、それぞれの場面では杜氏、蔵人の動きを地域の「白壁名人」に学んだり、演奏・音楽指導を受けたり、太鼓

指導などを受けたりした演目が上演されている。

西条小学校長からの聞き取り調査<sup>(11)</sup>によると、練習時間は総合的な学習の時間だけでなく、自分たちで課題を見付けて、休憩時間にも練習をした。出演は6年生のみであるが、入学してから先輩の活動を見て「あの役をしたい」とか、「あの演奏をしたい」などという思いをもって成長をしていくそうだ。6年生になって、ゴールデンウィーク後に、オーディションがあり、役が決定する。期待している役に決まれば笑顔が、逆になれば涙となる。しかし、すぐに次の役になろうと頑張るそうだ。そして、練習開始となり、9月には背中に「酒」と書かれた法被が配られる。こうなると、本番まで1カ月となって演技に一段と気合いが入っていくそうだ。

公演が終了すると、オペラ「白壁の街」を演じ切った感動と、「よくやった。ありがとう」という感謝の混じった何ともいえない大きな拍手が響いた。こうして、子どもたちは全員で一つの目標に向かってやり遂げたという、大きな感動を体感したのではないかと感じた。

また、このことが前述したように、相乗効果や波及効果となって、生徒指導上の問題解消や、学力向上に大きな成果となっているのではないかとと思われる。生徒指導上の効果では、いじめや仲間はずれというような、問題がほとんど見られないそうだ。学校を訪問しても、大きな声で挨拶ができており、公演の際の声の大きさが普段から出ている。また、よく学校を訪問した時に廊下を走る児童を見かけるが、西条小学校では全くそのようなことはなかった。授業でもよく集中して取り組んでおり、指導をしている指導者の目をよく見ながら学習に取り組んでいた。このような総合的な学習の時間の取組の成果が、西条小学校の伝統を引き継ぐとともに、学校と地域が一体となった教育活動が実践されていると思われる。

## 5 おわりに

総合的な学習の時間ができた当初は、余裕の時間の確保ができたとも取られて、効果的な学習にはほど遠いものであった。また、教師の力量によっては、成果があまり望めなかったということも否定できない。それは、文部科学省の調査でも明らかだが、本稿が取り上げた西条小学校の事例のように大きな成果を上げている学校もある

西条小学校のように、大きな成果を上げている学校の総合的な学習の時間の全体計画には、目標や内容などに三つの大きな特徴があるように思われる。一つは、目標を実現するにふさわしい探求課題になっている点である。新学習指導要領では、総合的な学習の時間には学校の実態に応じて、横断的・総合的な学習としての性格を持って、探求的な見方や考え方により、自己の生き方を考えていく上で、価値のある課題であることが求められている。<sup>(12)</sup>

二つは、地域で行われている行事が活かされている点である。地域で伝統行事などが開催される場合、参観するだけでなく準備の様子を見学し、地域の方から話を聞いたり、準備を手伝ったりすることによって、地域の方とのつながりができ、それが学校や学級への連携となって、思わぬ成果や効果を上げることにつながる。

三つは、外部との連携が構築されているという点である。総合的な学習の時間が、効果的な活動となるためには、保護者や地域の人々、地域学校協働活動推進員や学校支援ボランティア、教育委員会や首長部局などの行政関係者、各方面の学識経験者やその機関に携わっていた人々などとの連携が重要な部分を占めている。外部との連携を活用するためには、普段からの交流やつながりがなければならぬ。そのためには、普段からHPや学級通信などの情報の提供を保護者や地域にしたり、地域の行事に参加したりすることが重要になってくるのである。

今後は、西条小学校のように総合的な学習の時間の全体計画を立てるのであるが、地域や児童の実態等を踏まえて総合的な学習の時間の目標を立て、各学年の年間指導計画を作成するとともに、教科などの枠を越えた横断的・総合的な学習にしていかなければならない。また、探求的な学習のために課題の設定をし、情報源となる各種情報の収集をし、それを整理・分析をし、まとめと表現をしていかなければならない。まとめと表現は学習者にとって大きな財産となる。また、それを外部に発信することは、外部との連携の構築に繋がり、総合的な学習の時間だけでなく、学校経営・学級経営、他教科の学習をはじめ、学校教育活動全体に大きな成果をもたらすのではないかとと思われる。

## 引用文献

- (1) 中央教育審議会『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）』2008年、p.130。
- (2) 同上、p.131。

- (3) 西条小学校『第39代 西条小学校6年生 オペラ 白壁の街』2019年、ページなし。
- (4) 菅ちあき『郷土を題材にした系統的な学びの創造 東部教育事務所研究主任研修資料』、2019年、p.3。
- (5) 同上
- (6) 同上
- (7) 同上
- (8) 同上
- (9) 同上
- (10) 同上
- (11) R元.10.21 東広島市立西条小学校長 中嶋嵩弘氏からの聞き取り調査による。
- (12) 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間』2017年、pp.29-31。



